

## 綱 領

我々、全青中は中小企業の団体として  
日本経済を担う使命を自覚し  
会員の活発な交流、情報の共有を促すことにより  
ビジネス連携を深化させ  
組合青年部と企業の繁栄に寄与する。

## 行 動 指 針

- 一、組合青年部のリーダーである事を自覚しよう。
- 一、同業種、異業種間の交流を活発に行おう。
- 一、未来を共有し行動しよう。
- 一、地域社会に貢献しよう。

### 綱領解説

全国中小企業青年中央会の略称を「全青中」とする。

全青中の会員は 47 都道府県の青年中央会・協議会である。全青中の役員は 7 ブロックより出向している 16 名にて構成され、47 都道府県青年中央会・協議会には各業界の青年部が構成員として加入している（現在、約 1,600 青年部、約 35,000 人）。個々人は全青中の構成員であるが、全員が全青中に所属しているという意識をしっかりと持つ必要があるため「我々」という言葉をあえて入れている。

日本企業数の 99.3%を占める中小企業は日本経済の発展に責任を持たなければならない。各業界の次世代リーダーである 47 都道府県青年中央会・協議会はこの様な立場を自覚し活動することが必要である。

全国最大の異業種の集合体の一つである全青中は、各都道府県の活動のみならず、地域を越えた異業種、同業種の交流と、情報の共有を促すことによりビジネス連携を促進させるだけでなく、その連携を深める役割を持っている。

全青中は、組合青年部を活性化させる事により、各企業間・異業種間の連携への取り組み等、様々な挑戦に挑んでいる企業の繁栄に力を尽くしていく事を目的とする。

ここに全青中の綱領を定めるものとする。

全国中小企業青年中央会